

アジア代表事務所

アフリカ開発銀行グループは、2012年10月15日、アフリカ地域外では初となるアジア代表事務所を東京・日比谷に開設しました。アジア代表事務所は2020年6月8日に現在の霞が関に移転しました。

アジア代表事務所は、アフリカ開発銀行グループのアジア地域加盟国である日本、中国、韓国、インドの4か国を担当しています。アジア代表事務所は東京のビジネス街という便利な場所に位置し、官公庁にも近く、駐日アフリカ大使館をはじめとする主要パートナーも訪れやすい立地にあります。

アジア代表事務所の使命は、アジア地域加盟国との対外的なパートナーシップと対話の促進、ビジネスと投資に対する革新的なアプローチ、知識の発信・交換であり、これらすべてがアフリカ開発銀行グループの「10か年戦略2024-2033」と「5つの優先分野（High 5s）」の資源動員に貢献しています。

アジア代表事務所は、アジアとアフリカの協力関係をより強いものにする為に、様々な公的機関、国際機関や民間企業と協働し、各種の活動を展開しております。



アフリカ開発銀行グループ アジア代表事務所

〒100-6024

東京都千代田区霞が関3丁目2番5号

霞が関ビルディング24階（No.2408）

Tel: 03-4589-8721

Email: tokyo.info@afdb.org

Website: www.afdb-org.cn（中国語）

www.afdb-org.jp（日本語）

www.afdb-org.kr（韓国語）

アフリカ開発銀行グループ本部

所在地 コートジボワール共和国 アビジャン

African Development Bank Group

Avenue Joseph Anoma

01 B.P. 1387 Abidjan 01

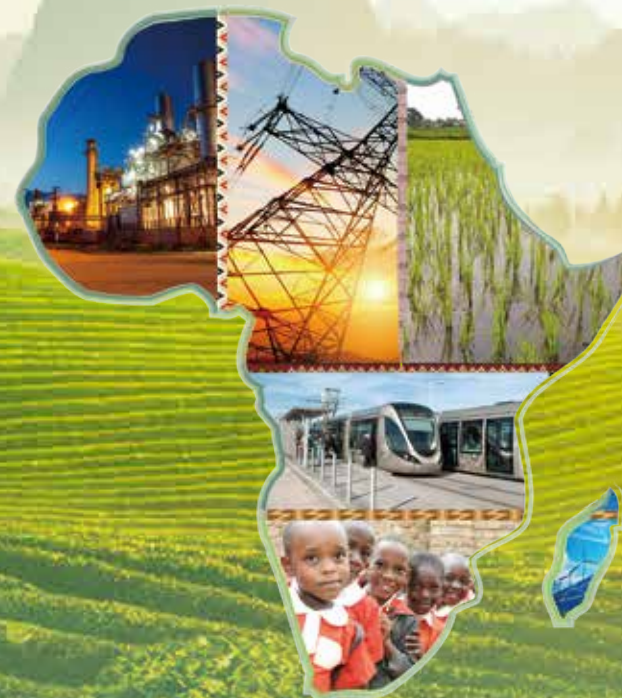
Côte d'Ivoire

Tel: +225 27 20 26 3900

Website: www.afdb.org（英語）

www.afdb.org/fr（フランス語）

アフリカ開発 銀行グループ



アジア代表事務所



どのような組織か

アフリカ開発銀行グループは、世界の主要な国際開発金融機関(MDBs)の1つです。その目的は、アフリカ域内加盟国(RMC)が持続可能な経済発展と社会的進歩を実現できるよう、投資資金の動員・配分や政策助言・技術協力の提供を通じて支援することです。

アフリカ開発銀行グループは、アフリカ開発銀行(AfDB)、アフリカ開発基金(ADF)、ナイジェリア信託基金(NTF)という3つの組織から構成されています。アフリカ開発銀行グループは主にドナー国から拠出金を得ていますが、アフリカ諸国の開発需要に応えるために、資本市場からも積極的に資金を調達しています。すべての主要格付機関からトリプルA格を付与されており、ソブリン・ポートフォリオは2022年、2024年と2期連続で援助透明性指数において第1位に輝きました。

アフリカ開発銀行グループは、アフリカ41か国にカントリーオフィスまたはリエゾンオフィスを構え、ナイロビ、プレトリア、チュニスの3か所に地域開発・統合・ビジネスデリバリー・ハブを置いています。また、アフリカ大陸以外の唯一の事務所として、アジア代表事務所を設置しています。

アフリカ開発銀行資本(2024年12月31日時点)

授權資本: 3,132億米ドル
引受資本: 2,145億米ドル
払込資本: 130億米ドル
請求払資本: 2,015億米ドル
準備金総額: 56億米ドル



加盟国

アフリカ開発銀行グループには現在、54のアフリカ域内加盟国と27のアフリカ域外加盟国の合計81か国が加盟しています。アフリカ開発基金(ADF)は拠出国33か国から構成され、37か国がADFの恩恵を受けています。

オペレーション

1. 融資および無償資金

アフリカ開発銀行グループはアフリカ域内加盟国に対して融資や無償資金を提供しています。融資は、ソブリン融資(SGL)とノンソブリン融資(NSGL)に分かれます。ADFは、低所得の域内加盟国37か国に対して、譲許的な融資や無償資金を提供しています。アフリカ開発銀行グループは、非ADF加盟国の公的企業・プロジェクトに対しては準商業的条件で融資を行い、域内加盟国の民間企業によるプロジェクトには商業的条件でNSGLを供与しています。

2. その他の金融商品

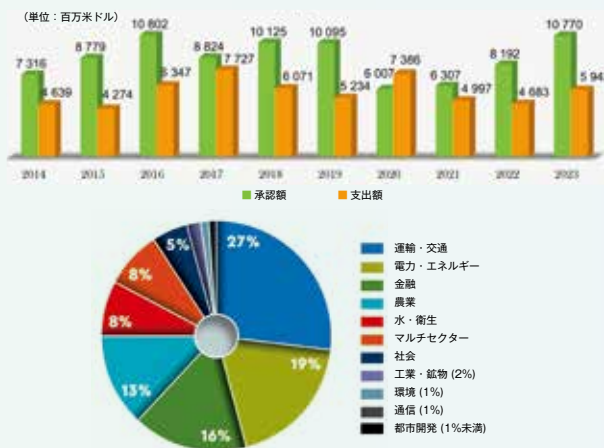
その他の金融商品としては、ローン(現地通貨建てシンセティック・ローンやシンジケート・ローンなど)、クレジットライン、保証、リスク管理商品、株式・準株式などがあります。

3. 技術協力

上記の金融商品に加え、アフリカ開発銀行グループは技術協力(TA)も提供しています。技術協力は、域内加盟国における専門家(特に中央・地方政府職員)を育成するための無償資金や融資を通じて、域内加盟国の設備の近代化や、開発プロジェクト準備のための公的・民間機関の能力強化を支援することです。

アフリカ開発銀行グループの分野と資金

グループの承認額と支出額



アフリカ開発銀行グループの2023年の承認額は107億7,000万米ドルと、2022年の承認額(81億9,000万米ドル)から30%増加しました。アフリカ開発銀行グループは交通インフラの分野で、アフリカ最大の金融機関です。

High 5s (ハイ・ファイブズ) アフリカ開発銀行グループの5つの優先分野

アフリカ開発銀行グループは、「High 5s (ハイ・ファイブズ)」と呼ばれる5つの優先分野を通じて、アフリカの強固かつ公平で持続可能な成長を促進することを目指しています。優先分野とは、①アフリカの電化、②食料増産、③工業化、④地域統合、⑤生活の質の向上です。2015年9月、アデシナ総裁は、「10か年戦略 2013-2022」に沿ってこれら5つの優先分野を打ち出しました。続く「10か年戦略 2024-2033」では、アフリカ開発銀行グループがアフリカの変革を進める中心主体となり、アフリカの成長の質を改善していくことを目的としています。



アキンウミ・アデシナ
アフリカ開発銀行グループ
第8代総裁



10か年戦略 2024-2033

アフリカ開発銀行グループの「10か年戦略 2024-2033」は、アフリカがより良い社会、経済、人々の生活を達成できるという楽観主義に基づいて策定されています。この戦略は、「豊かで、インクルーシブ(包摂的)で、レジリエント(強靱)で、統合されたアフリカ」というビジョンを掲げており、「インクルーシブなグリーン成長の加速」と「豊かでレジリエントな経済の推進」という2つの戦略目標から構成されています。アフリカ開発銀行グループはこれら2つの目標を追求しつつ、環境、公平性、経済のバランスを取ることで持続可能性を実現していきます。60年前に採択されたアフリカ開発銀行グループの使命は、「域内加盟国の持続可能な経済発展と社会的進歩を推進する」というものでした。現在も、域内加盟国のニーズに応えることがアフリカ開発銀行グループの重点分野となっています。



**AFRICAN DEVELOPMENT
BANK GROUP**
Building today a better
Africa tomorrow